様式３

教員資格及び教育内容等の自己評価書様式

【自己評価 1-1】専任教員の配置状況

学部・学科等の名称	専任教員数								非常勤教員	専任教員一人あたりの在籍学生数	備考
	教授	准教授	講師	助教	計	基準数	うち理学療法士又は作業療法士数	助手			
医療学部理学療法学科	6 人	0 人	6 人	2 人	14 人	8 人	9 人	0 人	30 人	12.5 人	
△△課程	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
計	6 人	0 人	6 人	2 人	14 人	9 人	9 人	0 人	30 人	12.5 人	

【自己評価 1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている。	3
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価 1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	4
	９割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3
	８割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
	上記以外である。	1

【自己評価 1-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
○	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価 2-1】養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野（基礎･専門基礎･専門）	指定規則教育内容	相当授業科目名	担当コマ数	担当教員	
				氏名	職名（専任・兼任）
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	心理学	15	堀川　悦夫	教授（専任）
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	哲学	8	土持　貴志	非常勤
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	倫理学	8	土持　貴志	非常勤
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	文学	8	安河内　敬太	非常勤
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	教育学	15	飯田　史也	非常勤
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	教育評価学	15	原北　祥悟	非常勤
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	コミュニケーション概論	15	田原　直美	非常勤
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	8	菅原　洋子	教授（専任）
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	45	菅原　洋子	教授（専任）
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	アジア比較文化論	8	山本　秀也	非常勤
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	法学	8	王　美蘭	助教（専任）
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	経済学	8	吉川　卓也	非常勤
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	社会学	8	今井　竜也	非常勤
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	国際医療福祉論	15	伊藤　豪	非常勤
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	社会保障制度論	15	財津　裕一	教授（専任）
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	ボランティア論	8	松岡　佐智	非常勤
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活	生物学	15	世波　貴子	非常勤
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活	物理学	15	安本　誠一	非常勤

基礎	科学的思考の基盤、人間と生活	統計学	15	山之口　稔隆	講師（専任）
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活	医療と ICT	15	山之口　稔隆	講師（専任）
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活	生命倫理	15	小牧　元	教授（専任）
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活	人間工学	15	村木　里志	非常勤
基礎	人間と生活	健康科学理論	8	高原　和子	非常勤
基礎	人間と生活	健康スポーツ実践	15	高原　和子	非常勤
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	大学入門講座	8	柊　幸伸	教授（専任）
			8	北島　栄二	教授（専任）
			8	菅原　洋子	教授（専任）
			8	吉冨　健志	教授（専任）
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	医学英語Ⅰ	15	Jenny McDonald	非常勤
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	医学英語Ⅱ	15	Jenny McDonald	非常勤
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	英語（基礎）	15	Jenny McDonald	非常勤
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	英語（応用）	15	Jenny McDonald	非常勤
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	英会話	15	Jenny McDonald	非常勤
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	韓国語	30	李　尚恩	非常勤
			30	黄　慶旭	非常勤
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	中国語	30	王　美蘭	助教（専任）
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	日本語Ⅰ	15	澤　真澄	非常勤
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	日本語Ⅱ	15	澤　真澄	非常勤
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	日本語Ⅲ	15	澤　真澄	非常勤
基礎	科学的思考の基盤、人間と生活、社会の理解	日本語Ⅳ	15	澤　真澄	非常勤
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ	15	小坂　克子	教授（専任）
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅱ	15	小坂　克子	教授（専任）
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学実習	23	小坂　克子	教授（専任）
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	生理学Ⅰ	15	森本　幸生	非常勤
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	生理学Ⅱ	15	森　望	教授（専任）
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	生理学実習	23	飛松　省三	教授（専任）
			23	中薗　寿人	講師（専任）
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	病理学	15	田川　辰也	教授（専任）
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床医学概論	15	田川　辰也	教授（専任）
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	公衆衛生学	15	財津　裕一	教授（専任）

専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	リハビリテーション医学	15	浅見　豊子	非常勤
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学Ⅰ	15	田川　辰也	教授（専任）
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学Ⅱ	15	田川　辰也	教授（専任）
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	神経学Ⅰ	15	飛松　省三	教授（専任）
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	神経学Ⅱ	15	飛松　省三	教授（専任）
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	整形外科学Ⅰ	15	工藤　悠貴	非常勤
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	整形外科学Ⅱ	15	佐伯　和彦	教授（専任）
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	精神医学Ⅰ	15	尾籠　晃司	教授（専任）
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	精神医学Ⅱ	15	尾籠　晃司	教授（専任）
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	小児科学	15	新居見　和彦	教授（専任）
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	老年学	15	堀川　悦夫	教授（専任）
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	人間発達学	15	高嶋　美和	非常勤
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床心理学概論	15	堀川　悦夫	教授（専任）
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	救急医学	8	後藤　純信	非常勤
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	基礎薬理学	8	森　望	教授（専任）
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	栄養学	8	近江　雅代	非常勤
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	カウンセリング論	8	堀川　悦夫	教授（専任）
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リスクマネジメント論	15	今泉　勉	教授（専任）
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	ケアマネジメント論	8	大谷　久也	非常勤
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	医用画像診断学	8	工藤　祥	非常勤
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	運動学Ⅰ	15	吉塚　久記	講師（専任）
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	運動学Ⅱ	15	吉塚　久記	講師（専任）
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	運動生理学	8	光武　翼	講師（専任）
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	運動学実習	23	池田　拓郎	講師（専任）
			10	藤田　大輔	講師（専任）
			10	谷口　隆憲	助教（専任）
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	15	柊　幸伸	教授（専任）
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	保健医療福祉制度論	15	辻　雅善	非常勤
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	関連職種連携論	15	白石　裕子	教授（専任）
			15	潮井川　修一	助教（専任）

			1	丹羽　敦	教授（専任）
			1	大池　美也子	教授（専任）
			1	高木　良重	講師（専任）
			1	池田　拓郎	講師（専任）
			1	彌永　和美	准教授（専任）
			1	高畑　哲郎	非常勤
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	関連職種連携ワーク	15	松藤　佳名子	准教授（専任）
			15	白石　裕子	教授（専任）
			15	吉村　美香	講師（専任）
			15	吉塚　久記	講師（専任）
			15	光武　翼	講師（専任）
			15	中薗　寿人	講師（専任）
			15	佐野　伸之	講師（専任）
			15	木村　まり子	助教（専任）
			15	吉田　亮平	助教（専任）
			15	橋本　勇希	准教授（専任）
			15	潮井川　修一	助教（専任）
			15	川口　賀津子	教授（専任）
			15	山口　みどり	准教授（専任）
			15	中野　真理子	准教授（専任）
			15	仙波　洋子	准教授（専任）
			15	黒木　司	准教授（専任）
			15	辻　奈美	講師（専任）
			15	甲斐　恭子	講師（専任）
			15	吉村　千草	助教（専任）
			15	池添　貴子	助教（専任）
			15	伊東　香織	助手（専任）
専門	理学療法管理学	理学療法概論	8	柊　幸伸	教授（専任）
専門	基礎理学療法学	運動解剖学	15	谷口　隆憲	助教（専任）
専門	基礎理学療法学	病態運動学	15	谷口　隆憲	助教（専任）
専門	理学療法治療学	物理療法Ⅰ	15	光武　翼	講師（専任）
専門	理学療法治療学	物理療法Ⅱ	15	光武　翼	講師（専任）
専門	理学療法評価学	PT スキルⅠ演習(キャリアデザイン)	8	谷口　隆憲	助教（専任）
専門	理学療法評価学	PT スキルⅡ演習(検査・測定)	15	吉村　美香	講師（専任）
			7	池田　拓郎	講師（専任）
			7	谷口　隆憲	助教（専任）
専門	理学療法治療学	PT スキルⅢ演習(障害理解)	15	吉塚　久記	講師（専任）
			6	光武　翼	講師（専任）
			6	藤田　大輔	講師（専任）
専門	理学療法治療学	PT スキルⅣ演習(専門知識の確認)	15	藤田　大輔	講師（専任）
			4	池田　拓郎	講師（専任）
			4	吉村　美香	講師（専任）
			4	吉塚　久記	講師（専任）
			4	光武　翼	講師（専任）
			4	谷口　隆憲	助教（専任）

			4	邵双　燕	助教（専任）
専門	理学療法評価学	理学療法評価学	8	吉塚　久記	講師（専任）
			7	池田　拓郎	講師（専任）
専門	理学療法評価学	理学療法診断学Ⅰ（基礎）	30	吉村　美香	講師（専任）
			30	邵双　燕	助教（専任）
専門	理学療法評価学	理学療法診断学Ⅰ（基礎）	30	邵　双燕	助教（専任）
専門	理学療法評価学	理学療法診断学Ⅱ（神経診断学）	15	光武　翼	講師（専任）
専門	理学療法評価学	理学療法診断学Ⅲ（疾患別評価）	8	谷口　隆憲	助教（専任）
専門	理学療法評価学	理学療法診断学Ⅳ（電気診断学）	8	光武　翼	講師（専任）
専門	基礎理学療法学	バイオメカニクス	8	吉塚　久記	講師（専任）
専門	基礎理学療法学	動作分析学	8	池田　拓郎	講師（専任）
専門	理学療法治療学	運動療法学総論	7	吉塚　久記	講師（専任）
			8	池田　拓郎	講師（専任）
専門	理学療法治療学	理学療法治療学総論	15	谷口　隆憲	助教（専任）
専門	理学療法治療学	運動系理学療法学Ⅰ	15	池田　拓郎	講師（専任）
			15	谷口　隆憲	助教（専任）
専門	理学療法治療学	運動系理学療法学Ⅱ	30	藤田　大輔	講師（専任）
			8	池田　拓郎	講師（専任）
			8	谷口　隆憲	助教（専任）
専門	理学療法治療学	神経系理学療法学Ⅰ	30	堀本　ゆかり	非常勤
			2	池田　拓郎	講師（専任）
専門	理学療法治療学	神経系理学療法学Ⅱ	15	光武　翼	講師（専任）
専門	理学療法治療学	高次脳機能障害学	8	堀本　ゆかり	非常勤
専門	理学療法治療学	代謝系理学療法学	8	藤田　大輔	講師（専任）
専門	理学療法治療学	循環理学療法学	8	藤田　大輔	講師（専任）
専門	理学療法治療学	呼吸理学療法学	15	藤田　大輔	講師（専任）
専門	理学療法治療学	癌のリハビリテーション	8	丸山　仁司	教授（専任）
専門	地域理学療法学	装具学	15	柊　幸伸	教授（専任）
専門	地域理学療法学	義肢学	15	柊　幸伸	教授（専任）
専門	地域理学療法学	生活環境学	8	吉村　美香	講師（専任）
専門	理学療法治療学	生活技術学	15	吉村　美香	講師（専任）
専門	地域理学療法学	地域理学療法学	8	吉村　美香	講師（専任）
専門	地域理学療法学	福祉住環境論	8	吉村　美香	講師（専任）
専門	理学療法治療学	小児理学療法学	15	高嶋　美和	非常勤
専門	理学療法治療学	理学療法技術学	8	谷口　隆憲	助教（専任）
専門	理学療法治療学	先端リハビリテーション科学	8	丸山　仁司	教授（専任）
専門	理学療法評価学	クリニカルリーズニング	8	谷口　隆憲	助教（専任）
専門	地域理学療法学	産科理学療法学	8	漆川　沙弥香	非常勤
専門	地域理学療法学	障害者スポーツ概論	8	吉塚　久記	講師（専任）
専門	理学療法治療学	理学療法特論Ⅰ（基礎）	8	藤田　大輔	講師（専任）
			8	柊　幸伸	教授（専任）
			8	丸山　仁司	教授（専任）
			8	池田　拓郎	講師（専任）

			8	吉村　美香	講師（専任）
			8	吉塚　久記	講師（専任）
			8	光武　翼	講師（専任）
			8	谷口　隆憲	助教（専任）
			8	邵　双燕	助教（専任）
専門	理学療法治療学	理学療法特論Ⅱ（応用）	8	藤田　大輔	講師（専任）
			8	柊　幸伸	教授（専任）
			8	丸山　仁司	教授（専任）
			8	池田　拓郎	講師（専任）
			8	吉村　美香	講師（専任）
			8	吉塚　久記	講師（専任）
			8	光武　翼	講師（専任）
			8	谷口　隆憲	助教（専任）
			8	邵　双燕	助教（専任）
専門	理学療法管理学	リハビリテーション管理論	8	丸山　仁司	教授（専任）
専門	臨床実習	基礎実習Ⅰ	23	池田　拓郎	講師（専任）
			23	谷口　隆憲	助教（専任）
			1	柊　幸伸	教授（専任）
			1	丸山　仁司	教授（専任）
			1	吉村　美香	講師（専任）
			1	吉塚　久記	講師（専任）
			1	光武　翼	講師（専任）
			1	藤田　大輔	講師（専任）
			1	邵　双燕	助教（専任）
専門	臨床実習	基礎実習Ⅱ	23	池田　拓郎	講師（専任）
			23	谷口　隆憲	助教（専任）
			1	柊　幸伸	教授（専任）
			1	丸山　仁司	教授（専任）
			1	吉村　美香	講師（専任）
			1	吉塚　久記	講師（専任）
			1	光武　翼	講師（専任）
			1	藤田　大輔	講師（専任）
			1	邵　双燕	助教（専任）
専門	臨床実習	検査測定実習	45	吉村　美香	講師（専任）
			45	谷口　隆憲	助教（専任）
			45	柊　幸伸	教授（専任）
			45	丸山　仁司	教授（専任）
			45	池田　拓郎	講師（専任）
			45	吉塚　久記	講師（専任）
			45	光武　翼	講師（専任）
			45	藤田　大輔	講師（専任）
			45	邵　双燕	助教（専任）
専門	臨床実習	評価実習	68	吉村　美香	講師（専任）
			68	谷口　隆憲	助教（専任）
			68	柊　幸伸	教授（専任）

			68	丸山　仁司	教授（専任）
			68	池田　拓郎	講師（専任）
			68	吉塚　久記	講師（専任）
			68	光武　翼	講師（専任）
			68	藤田　大輔	講師（専任）
			68	邵　双燕	助教（専任）
専門	臨床実習	臨床実習Ⅰ	158	吉塚　久記	講師（専任）
			158	光武　翼	講師（専任）
			158	柊　幸伸	教授（専任）
			158	丸山　仁司	教授（専任）
			158	池田　拓郎	講師（専任）
			158	吉村　美香	講師（専任）
			158	藤田　大輔	講師（専任）
			158	谷口　隆憲	助教（専任）
			158	邵　双燕	助教（専任）
専門	臨床実習	臨床実習Ⅱ	158	吉塚　久記	講師（専任）
			158	光武　翼	講師（専任）
			158	柊　幸伸	教授（専任）
			158	丸山　仁司	教授（専任）
			158	池田　拓郎	講師（専任）
			158	吉村　美香	講師（専任）
			158	藤田　大輔	講師（専任）
			158	谷口　隆憲	助教（専任）
			158	邵　双燕	助教（専任）
専門	臨床実習	地域理学療法学実習	23	吉村　美香	講師（専任）
専門	基礎理学療法学	卒業研究Ⅰ（研究計画の立案）	30	吉村　美香	講師（専任）
			30	谷口　隆憲	助教（専任）
			30	柊　幸伸	教授（専任）
			30	丸山　仁司	教授（専任）
			30	池田　拓郎	講師（専任）
			30	吉塚　久記	講師（専任）
			30	光武　翼	講師（専任）
			30	藤田　大輔	講師（専任）
			30	邵　双燕	助教（専任）
専門	基礎理学療法学	卒業研究Ⅱ（研究の実践）	30	吉塚　久記	講師（専任）
			30	光武　翼	講師（専任）
			30	柊　幸伸	教授（専任）
			30	丸山　仁司	教授（専任）
			30	池田　拓郎	講師（専任）
			30	吉村　美香	講師（専任）
			30	藤田　大輔	講師（専任）
			30	谷口　隆憲	助教（専任）
			30	邵　双燕	助教（専任）

【自己評価 2-2】当てはまる自己評価欄に〇をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価 2-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価 3-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
種々の施設の役割や各施設における理学療法士の役割について理解する。	1 年前期 1 年後期	理学療法概論	1 年前期
		リハビリテーション概論	1 年後期
		PT スキル I（キャリアデザイン）	1 年後期
基本的な検査測定を経験し、臨床実践と学内講義との統合を図る。	3 年後期	理学療法評価学	1 年後期
		理学療法診断学 I（基礎）	2 年前期

		理学療法診断学Ⅱ（神経診断学）	2 年前期
		理学療法診断学Ⅲ（疾患別評価）	2 年後期
		PT スキルⅡ演習（検査・測定）	2 年後期
		PT スキルⅢ演習（障害理解）	3 年前期
		PT スキルⅣ演習（専門知識の確認）	3 年後期
一連の理学療法評価を体験し、臨床における理学療法の実際の理解を深める。	3 年後期	理学療法評価学	1 年後期
		理学療法診断学Ⅰ（基礎）	2 年前期
		理学療法診断学Ⅱ（神経診断学）	2 年前期
		理学療法診断学Ⅲ（疾患別評価）	2 年後期
		PT スキルⅡ演習（検査・測定）	2 年後期
		PT スキルⅢ演習（障害理解）	3 年前期
		PT スキルⅣ演習（専門知識の確認）	3 年後期
対象者の障害像について適切な臨床推論形成を経験できる。	4 年前期	理学療法評価学	1 年後期
		理学療法診断学Ⅰ（基礎）	2 年前期
		理学療法診断学Ⅱ（神経診断学）	2 年前期
		理学療法診断学Ⅲ（疾患別評価）	2 年後期
		PT スキルⅡ演習（検査・測定）	2 年後期
		PT スキルⅢ演習（障害理解）	3 年前期
		PT スキルⅣ演習（専門知識の確認）	3 年後期
		クリニカルリーズニング	3 年後期
		理学療法技術学	3 年後期
複合疾患を有する対象者においても適切な臨床推論形成を経験できる。	4 年前期	理学療法評価学	1 年後期
		理学療法診断学Ⅰ（基礎）	2 年前期
		理学療法診断学Ⅱ（神経診断学）	2 年前期
		理学療法診断学Ⅲ（疾患別評価）	2 年後期
		PT スキルⅡ演習（検査・測定）	2 年後期
		PT スキルⅢ演習（障害理解）	3 年前期
		PT スキルⅣ演習（専門知識の確認）	3 年後期
		クリニカルリーズニング	3 年後期
		理学療法技術学	3 年後期
地域リハビリテーションにおける理学療法の実際を理解する。	4 年後期	地域理学療法学	2 年前期
		生活環境学	2 年前期
		福祉住環境論	3 年前期

【自己評価 3-3】当てはまる自己評価欄に〇をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
〇	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価 3-4】当てはまる自己評価欄に〇をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
〇	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価 3-5】当てはまる自己評価欄に〇をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
〇	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 4-1】当てはまる自己評価欄に〇をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
〇	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	医療学部自己点検・自己評価委員会
委員名（委員長）	原英夫学長（委員長）
組織の開催頻度	１年に４度
組織の取り組み内容	・ 学生による授業評価の分析
	・ 委員による授業参観の企画
	・ 教育改善の研修会の開催企画
	・ 自己点検・評価の基本方針及び自己点検・評価項目の策定 ・ 自己点検・評価の組織及び体制の整備 ・ 自己点検・評価の実施

	・ 各部・学科等の自己点検・評価の総括及び検証 ・ 自己点検・評価報告書の作成及び公表 ・ 外部評価及び第三者評価 ・ 認証評価 ・ その他自己点検・評価策定
自己点検・評価結果の公表	ＨＰで公表（URL：https://fiuhw.takagigakuen.ac.jp/）

【自己評価 4-2】当てはまる自己評価欄に〇をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
〇	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する仕組み	名称	教務委員会カリキュラム部会
	委員構成等	教務委員長が指名する専任教員、学務課長、その他教務委員長が必要と認めた者
	改善の仕組みの実際	・カリキュラムの編成に関すること ・カリキュラム運営の方法並びにその改善及び支援に関すること ・その他カリキュラムに関すること

【自己評価 4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください。

自主的な自己点検・評価を常に実施し、そこで得た自己点検・評価活動の誠実性は、現状把握のために必要な調査や基礎データ及び資料を十分に収集・整理し分析・検討しており、そのエビデンスに基づいた自己点検・評価の結果は、ホームページを通じて学内共有を図るとともに、社会への公表を実行している。